

## 常設展示

### 商品



当初は貿易商品のサンプルと商品の原材料標本が収集されましたが、その後、地方物産品の収集がはじまり、現在では陶磁器、漆器、染織品などの伝統的工芸品を展示しています。かつて秘密のベールに隠されていた原材料と製造過程は、価格形成上の要因として付加価値を示す根拠でもあります。展示では、卓越した職人技と地域色に価値付けられた少量・多品種による高付加価値商品としての現状を紹介しています。

### 刑事



過去にあった残酷で非人間的な拷問や刑罰を批判的な視点から回顧し、法と刑罰の歴史を学び、現代の法と社会を考えるきっかけとするために古代から近世にかけての刑法典や江戸時代の警察・裁判・刑罰にかかわる資料を紹介しています。御成敗式目、今川仮名目録など著名な刑法典の数々をはじめ、高札、長柄三道具や十手・捕り縄など江戸時代の捕者道具と取調べの過程で使用された拷問具、刑罰具や近代の死刑具、さらには海外の刑罰具などの復元資料も展示しています。

### 考古



日本列島における旧石器時代の存在をはじめて証明した1949年岩宿遺跡の発掘以降、日本考古学の発展に貢献した明治大学による調査研究の歩みとその成果の数々を展示しています。岩宿遺跡出土石器(重文)、旧石器集落を明らかにした砂川遺跡出土石器(重文)、縄文時代の年代観を大きく変えた夏島貝塚出土遺物(重文)、遮光器土偶、稲作開始期の板付式土器、深草遺跡の石包丁、出流原遺跡の再葬墓資料(重文)、玉里舟塚古墳の大型埴輪群(写真)など見どころ満載です。

## 明治大学博物館友の会

講演会、見学会、自主学習会、会員間の交流イベントなどを実施するとともに、明治大学博物館のパートナーとして各種ボランティア活動を展開しています。活動内容や会員募集など、詳しくは館内で配布のリーフレット又は当館ウェブサイトをご参照ください。

## 来館案内

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常設展示及び特別展・企画展の開館日や開館時間を変更することがあります。来館前に当館ウェブサイト等で最新情報をご確認ください。

**開館時間** 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
**休館日** 8月10日~16日 12月26日~1月7日  
 8月の土・日曜に臨時休館があります  
**交通** JR御茶ノ水駅徒歩5分  
 地下鉄新御茶ノ水駅徒歩8分  
 地下鉄神保町駅徒歩10分  
**住所** 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1  
 明治大学アカデミーコモン地階  
 TEL.03-3296-4448 FAX.03-3296-4365  
 ウェブサイト <https://www.meiji.ac.jp/museum/>

**Open Daily**  
 10:00~17:00(Last admission 16:30)  
**Closed on**  
 10~16 August, 26 December~7 January  
 Temporary closed day in August. Please ask us.  
**Admission**  
 Regular exhibition: Free  
**Transportation**  
 5min walk from the JR Ochanomizu Sta.(JC03/JB18)  
 8min walk from the Subway Shin-Ochanomizu Sta.(C12)  
 10min walk from the Subway Jimbo-cho Sta.(I10/S06/Z07)  
**Address**  
 Academy Common Building, Meiji University,  
 1-1, Kanda-Surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo,  
 101-8301, Japan



# 明治大学博物館 2022年 展覧会案内

Meiji University  
MUSEUM  
Mm  
Exhibition Program of  
Meiji University Museum, 2022

## 2021年度博物館特別展 校友山脈第Ⅱ部 「神田学生街 140年の今⇄昔」

入場  
無料

2022年2月3日(木)～4月10日(日)

主催: 明治大学史資料センター 明治大学博物館

「東京・神田学生街」の今昔にスポットを当てた企画です。神田学生街は140年以上にわたり、学生と共に変化・発展してきました。古写真、卒業生等関係者の回想、いま神田に生きる方々のご紹介等を通して、学生街の未来を見通すヒントを探します。学生企画にもご期待ください!



1970年代と現在の御茶ノ水駅前

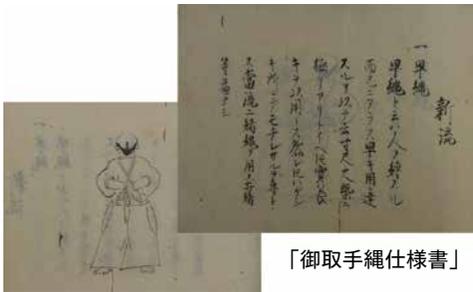
## 新収蔵・収蔵資料展2022

入場  
無料

2022年4月18日(月)～5月16日(月)

主催: 明治大学博物館

2021年度の購入資史料・関連収蔵資料の公開を主な目的として商品・刑事・考古の各部門が展示を行います。主な展示品は近年の収蔵品も含め、商品部門では受贈した漆器(19世紀後半)や陶磁器(20世紀前半)の伝世品、刑事部門からは「御取手縄仕様書」、そして考古部門の馬形飾付金銅製冠(三味塚古墳、復元品)です。



「御取手縄仕様書」

## こ・と・わ・ざ — 風刺とユーモア

入場  
無料

2022年5月21日(土)～6月25日(土)

主催: 明治大学博物館

ことわざには教訓としての性格を持つものが多く、欲望や倫理観の欠如による人の失敗や世の中の矛盾する状況に対する戒めの意味があり、そこからは人間の「業」とでも言うべきものを読み取れます。短い字数ながら普遍的で奥深い批評であり、江戸時代から大正期頃までには図像と文字の組み合わせによる絵画や印刷物が数多く製作されています。そうした市井の人々の間で流布した批評の精神を拾い上げてゆきます。



歌川芳盛・画  
「教訓いろはたとへ」  
(1862)

## 古代常陸の雄・三味塚古墳

入場  
無料

2022年7月8日(金)～8月6日(土)

主催: 明治大学博物館

霞ヶ浦北岸に位置する三味塚古墳(5世紀末)は、明治大学が関わった1955年の発掘調査で国内唯一の馬形飾付金銅製冠をはじめとする豪華な副葬品が出土し、国の重要文化財に指定されています。このたび、全面的な保存修復が行われ、金銅製垂飾や横刺板鋌留短甲等が新たな姿に甦りました。今回は主要な資料群を茨城県外で初めて一堂に公開します。



三味塚古墳の石棺と  
武器・武具集中部

「日本東西道中画」明治大学博物館所蔵



## 2022年度明治大学博物館特別展

# 新しいお殿様 — 所替・その後 —

10月14日(金)～12月14日(水)

入場  
無料

主催 明治大学博物館

1747年に岩城平(現福島県)から延岡(現宮崎県)へ所替した7万石の譜代大名内藤家。東北大名だった内藤家にとって、新しい領地は江戸から遠く、大坂・長崎という幕府の重要拠点とのかかわりも生じる未知の世界でした。

所替でやってきた内藤藩の武士たちは、どのように新しい領地に対応していくのでしょうか。税金や法律のことはもちろん、武士のリストラやリクルート、周辺大名との付き合い、江戸と国元の往来、御祭りの効用などさまざまな側面に注目し、これまで知られていなかった新大名による統治開始時の実態に迫ります。



表紙・本紙  
「今山八幡宮御神幸行絵巻(伝岡部南圃筆)」  
延岡市内藤記念館所蔵・同画像提供